

BATTLE

16 コインランドリー対決!!

マンマチャオVSコインランドリーデポ

関東近県コインランドリーの2大勢力が激突! 都会人の心をつかむのはどっちだ!

関 東エリアで急成長しているのが「マンマチャオ」と「コインランドリーデポ」。現在は店舗数でマンマチャオが大幅にリードしているが、デポはいち早く無人店舗にスタッフがいる時間を設ける「有人店舗システム」を導入。店内のセキュリティに不安を感じる女性客の取り込みに成功している。



都市型経営ゆえ、小規模店舗が多い「マンマチャオ」。有人店舗にするとちょっと窮屈?



一方「コインランドリーデポ」は大型店舗が中心なので、有人店舗に向いていそうだ

この2大勢力の今後について、コインランドリー業界に詳しい、ある評論家は分析する。

「デポが始めた有人店舗システムはマンマチャオでも現在導入されていますが、人件費と売り上げのバランスを取るのには至難の業。その点では最初にスタート

させたデポが有利でしょう。しかし、デポの欠点は現在、東京23区に3店舗しかないこと。マンマチャオは48店進出しており、都会に進出するノウハウを持っている点は強みだと思います」

両社は洗濯機の洗浄時間にも差があり、30分のデポに対しマンマチャオは19分! 都心の人にはその差は大きいだろう。

というわけで、ここはマンマチャオの勝利!

マンマチャオ

コインランドリーデポ

運営	mammaciao	ランドリーデポ
創業	2000年	2001年
本社	神奈川・横浜市	東京・町田市
1号店	2001年 神奈川・横浜	2005年 神奈川・横浜
店舗数	309店舗	199店舗
売上高	13億円(2016年9月期)	38億円(2016年4月期)

1号店進出はどちらも2000年以降。ちなみに日本全国のコインランドリーはここ10年で約4000店舗増えているとか

BATTLE

17 書き味サラサラ対決!!

ジェットストリームVSカクノ

ボールペン、シャープペンに続く万年筆ブーム! 火つけ役の「カクノ」は王者にどこまで迫れるのか。

今 やボールペン界の雄といえは、「ジェットストリーム」。人気の秘密はサラサラの書き味。従来の油性ボールペンはインクの粘性が高く、書き味も重いのが一般的だった。が、インクの摩擦力を削減することに成功し、軽い書き味を実現。「ボールペン1本100円が当たり前の時代に150円でしたから、『高くても売れないのでは?』と思いました。試し書きすると多くの方が納得して買ってくれました」(ペンに詳しい文具店店主・林氏)

そして今、文具界に起きているのが万年筆ブームだ。その筆頭が「カクノ」。高価なイメージの万年筆界に1000円という価格で殴り込みをかけ、大ヒット中。「そもそもは小学

校高学年以上をターゲットに万年筆に慣れてもらおうと発売されたものですが、フタを開けてみると主な購買層はOLさんでした。値段や書き味はもちろん、形・色・デザインが受けたのだと思います」(林氏)

ボールペンと万年筆、価格もまったく違い対決は難しいが、10年たっても人気の衰えない偉業をたたえて、ここはジェットストリームに軍配!

発売以来、人気の衰えないジェットストリームは「3色ボールペン」など新商品を次々と投入。まだまだ勢いは止まらない

ジェットストリーム

カクノ

ジェットストリーム(左)とカクノ。万年筆にはインクの入替えやインクが詰まった際の手入れなど、ボールペンに比べると手がかかるが、その分、愛着が湧く一本に育つ

ジェットストリーム

カクノ

企業	三菱鉛筆	パイロット
種類	ボールペン	万年筆
発売	2006年7月	2013年10月
バリエーション	スタンダードのほか、3色ボールペン、多機能ペンなど8種類	キャップの色違いで10種類
値段	150円+税(スタンダード)	1000円+税